

日本伝熱学会 関西支部
第 32 期定時総会・特別講演会
第 33 期第 1 回講演討論会
開催報告

第 32 期特別講演会・第 33 期第 1 回講演討論会を関西大学千里山キャンパスにて下記の内容で開催しました。

日 時：2026 年 4 月 28 日（火）13:00～17:45

会 場：関西大学千里山キャンパス第 4 学舎 3 号館 2 階 R3202

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号

参加者：45 名

【日本伝熱学会関西支部 第 32 期定時総会】

13:00～13:25 関西支部第 32 期定時総会

【日本伝熱学会関西支部 第 32 期特別講演会】

13:35～13:40 特別講演会/講演討論会 開会挨拶

13:40～14:40 特別講演会

小宮山 正治 氏（元 岐阜大学工学部 教授）

題 目：燃焼の世界をレーザーで可視化

概 要：小宮山先生がライフワークとして取り組まれていた燃焼場のレーザーによる可視化計測技術の開発ならびにその高精度測定についてご講演いただいた。特に、レーリ-散乱による温度計測、レーザー誘起蛍光による濃度計測、管内流速の測定手法について詳しくご紹介いただいた。さらに、時間可変旋回羽根を用いた予混合火炎挙動の安定化など、最近の展開についてもご説明いただきました。

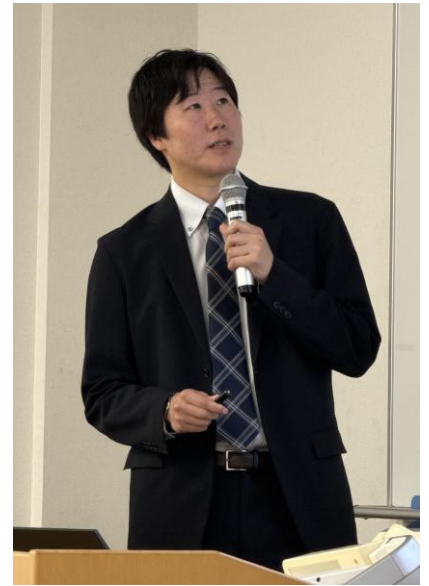


【日本伝熱学会関西支部 第33期第1回講演討論会】

14:50~15:35 出島 一仁 氏 (滋賀県立大学)

**題目：MEMS センサを用いた燃焼伝熱機構の解明と制御
へ向けた取り組み**

概要：火炎と壁面間の干渉現象を明らかにするために壁面極近傍での火炎挙動と熱伝達を同時評価するためのMEMS センサの開発ならびにそこから得られた諸現象についてご紹介いただいた。特にイオン電流を用いた火炎の特性解明への展望や壁面の物理性状によって火炎の性質を制御できることについてのご説明をいただいた。



15:35~16:20 福留 功二 氏 (立命館大学)

**題目：粗大過冷却液滴による航空機着氷の形状予測手法の
開発**

概要：雲などに含まれる過冷却液滴が航空機表面に衝突することで生じる着氷現象についてその種類・性質ならびに液滴軌道に依存して変化する着氷形状についてご紹介いただいた。特に形状予測につながる粒子法を用いた熱流体数値解析の改良と現状の課題についてご説明いただいた。



【日本伝熱学会関西支部 特別企画】

16:30~16:35 概要説明

16:35~17:30 パネルディスカッション

テーマ：古手の会～伝熱学会関西支部の活性化を無責任に考える～

パネリスト：井上 健司 氏、一法師 茂俊 氏、田坂 誠均 氏、木戸 長生 氏

モデレータ：梅川 尚嗣 氏

概要：元大阪大学基礎工学部の木本教授が企業の若手を集めて開始した通称"若手の会"は、その後本部直轄の研究會として正式名称を変えながら30年以上にわたって継続してきました。本会にかかわった方々がその後に関連学会で中心的役割を果たし学会活動の活性化に大きく寄与しております。しかしながら昨今の人口減少や企業内体制の変化を踏まえて、今後の企業側大学側双方の参画について議論する機会を設けるべく、パネルディスカッションを行いました。支部長をモデレータ



として、パネリスト各人のご経験を振り返りつつ、学会活動の現状と将来像ならびに活性化の方向性について議論しました。



17:30~17:45 写真撮影・閉会挨拶



17:45~ 意見交換会

会場：関西大学レストランチルコロ

参加者：34名